

喪主挨拶（子）大往生といえる最後

本日はお忙しいところ、父の葬儀にわざわざご会葬賜り誠にありがとうございました。またご鄭重なご弔意並びに、ご厚志を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昭和一桁生まれの父は家督をゆずりまして以来 20 年、悠々自適のうちに過ごしておりましたが、三日前の明け方、〇〇病院で眠るがごとく 87 歳の生涯を閉じました。若い時から様々な苦勞を経験し尽くした生涯ではありましたが、大往生ともいえる最後であったことは、子として何よりの慰めでございます。

父が晩年を豊かに過ごす事ができましたのも、ひとえに皆様方のご厚情のたまものと深く感謝致しております。これからは残されたもの力をあわせて、父の意思を受け継いでゆきたいと思えます。これまで同様のご指導とご鞭撻をお願い致しまして、御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

葬儀挨拶.com

フェイスセレモニーでは、葬儀挨拶の例文をご紹介したサイトを運営しています。

葬儀挨拶.com <http://sougi-aisatsu.com/>

